災害ボランティアの皆さんへ

～宿泊・露営施設「住田町基地」のご案内～

陸前高田市災害ボランティア　住田町基地

当施設は、陸前高田市の隣町・住田町が同市の復旧復興を支援するため、住田町社会福祉協議会と協力して設立を計画。地域住民の深いご理解の下に実現したものです。
全国から集まるボランティアの皆さんが発進基地として大いに活用されるようご案内申し上げます。

場所

岩手県気仙郡住田町世田米字下大股66-1　大股地区公民館

施設

館内宿泊：

約 100 人可能(大ホール、研修室などのフロアに寝る)

※男女別水洗トイレ、洗濯機、物干し場、調理室、地元新聞2紙閲覧コーナーなどあり。

テント：

20 張以上可能　※野外水道あり

アクセス：

陸前高田市災害ボランティアセンター前の国道 340 号を北上、107 号との交差点を左折、107 号を道なりに進み、397 号との交差点を水沢方向へ左折、3 つ目のトンネルを抜けた右手。当ボランティアセンターから距離約 19 キロ。

基本的利用法

陸前高田市災害ボランティアセンターでボランティア登録をした後、住田町基地で入営手続きをする。

【基地連絡先】

080-2820-2058

災害ボランティアの皆さんへ

～宿泊・露営施設「住田町(すみたちょう)基地」ご利用のしおり～

基地設立の趣旨を理解、「自己完結」のボランティア精神の下に良識と秩序を持って利用する

陸前高田市(りくぜんたかたし)災害ボランティア　住田町(すみたちょう)基地

入営手続き

正門右手の基地本館（公民館）左奥に玄関がある。車を正門から玄関に至る通路の支障にならない位置に一時止め、玄関を上がって右奥の運営班詰め所で宿泊者名簿に記入して入営手続きを行う。多人数の団体・グループの場合は代表が手続きを行い、荷物搬入などが一段落した時点で残りのメンバーが名簿記入を行っても可。既存の全員名簿を持っていたら、その写しを提出することで替えられる。なお、状況により、同手続き場所を移動することもある。

駐車区域

駐車区域は、基地前の川に沿う町道＝「ゆりあげトンネル」の基地側（水沢、奥州側）出口からすぐの脇道。入営手続き終了後、車を町道へ速やかに移動、国道から曲がって約 20m付近の掲示板より先の山側へ寄せて駐車する。

宿泊区域

宿泊スペースは大ホールや研修室のフローリング。女性専用室もある（混雑時、やむを得ず男女兼用になる場合もあり）。どの区域にするかは、入営手続き時または入営後速やかに、スタッフが説明する。

利用の基本

基地利用に当たっては一定の約束事を設けるが、必要最小限にとどめ、それぞれの自律と責任を尊重する。ただ、特に当基地のある大股地区公民館は地域住民の公民館活動の貴重な広域拠点であり、館の大半を快く開放していただいたことに感謝する気持ちを忘れず、整理整頓、清掃などに一層留意する。

主な約束事

(1)　消灯は午後10時を目途とする。ただし、トイレとエントランスホール、外玄関は一晩中点灯。館内には布団、毛布も一定数用意。

(2)　調理室ではプロパンガス、水道設備のほか、冷蔵庫、テーブル上の電気ポットなども使用可。ガスを利用する場合は、運営班スタッフに一声かける。排水溝に残った洗いかすは基地の方で処理するが、他のゴミはすべて各自持ち帰る。持参したカセットコンロやガスカートリッジは調理室内のテーブルで利用できる。

(3)　洗濯機は正面玄関のわきの野外水道設備の裏に2台あるのを使用可。建物の裏には雨天時も使用できる物干しスペースあり。

(4)　大ホール奥に、食事＆リラックスコーナーを設けている。ポットのお湯でお茶やコーヒーを飲むことができ、復旧やボランティア活動の情報などが詳しく載っている東海新報、岩手日報2紙の閲覧も可。空きスペースではストレッチ運動が可能な若干のスペースもある。

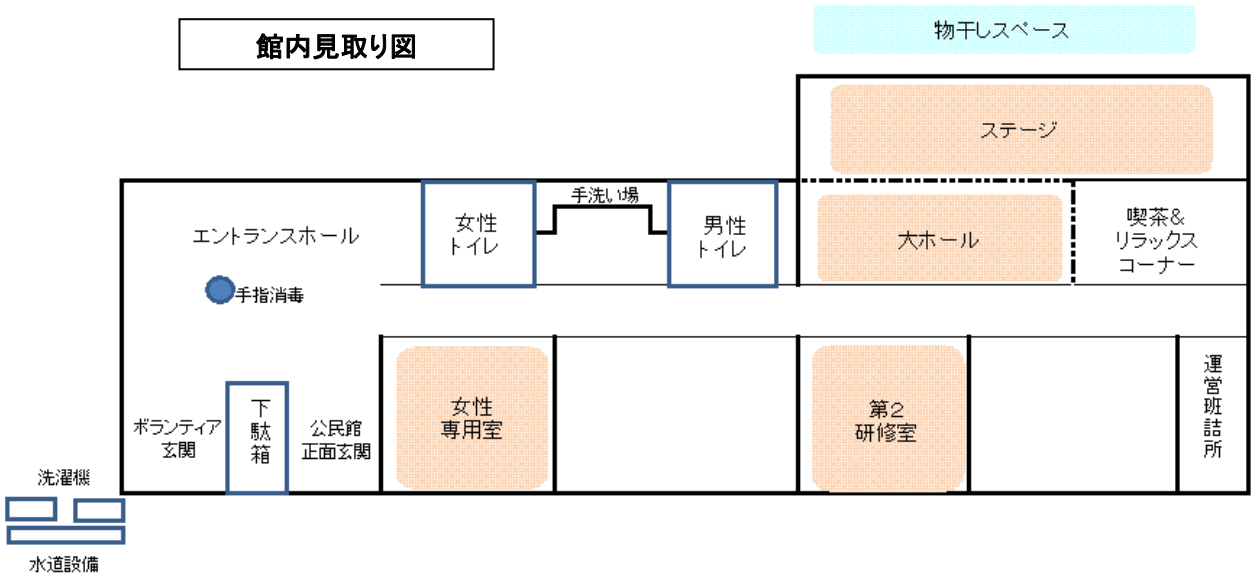
(5) 食事＆リラックスコーナーの前に、「住田町基地情報板」を設置。関連新聞記事の切り抜き、各種情報のほか、住田町を紹介する一角もある。

(6) 館内は禁煙。館外に喫煙コーナーを設けている（吸殻は各自持ち帰り）。

(7) 館内に入浴設備はない。車で約 15 分の所に、大浴場、レストランなどを備えた「遊林ランド種山」 がある（500 円）。ただし、入館は午後 5 時半締め切り。同施設から約 5 分の所に、「種山高原・星座の森」がある（200 円）。夜 9 時まで利用できる。同程度の距離の所に住田町生涯スポーツセンターがあり、男女別のコイン式シャワーが使える（100 円）。こちらは午後 5 時閉館。

(8) 入館の際は正面玄関ロビーに設置の消毒液で消毒を励行する。

<u>住田町基地運営班</u>

080-2820-2058

館内見取り図